

### 第3回 北広島市学校跡施設市民検討会議 議事概要

#### ◆開催概要

日 時 : 平成 22 年 7 月 20 日 (火) 18 : 00 ~ 20 : 00  
場 所 : 北広島市芸術文化ホール活動室 1.2  
出席委員 : 遠藤智委員、大川壽雄委員、川島光行委員、北側理委員、栗山恒幸委員、  
佐藤靖委員、澤田美恵子委員、清水弘委員、瀬戸口剛委員、寺岡和彦委員、  
中井敏之委員、西和恵委員、檜皮義博委員  
欠席委員 : 五十嵐智嘉子委員、藤野伸之委員  
事務局 : 岩泉功一企画財政部長、櫻井芳信政策調整課長、川村裕樹政策調整課主査、  
岸本美由紀主事  
傍聴者 : 5 名

#### 1 開会

- ・ 本日は委員の 15 名中 12 名が参加している。委員の半数が出席していることにより、会議が成立していることを報告。

#### 2 議事

事務局により資料説明が行われた。

##### (1) 前回 (6/19) 市民検討会議における調査依頼事項

- ・ 北広島団地住民センター利用実績について【別紙 1】
- ・ 学校開放における体育館利用実績について【別紙 2】
- ・ 広葉小・緑陽小学校用地の評価額について (平成 22 年度)【別紙 3】
- ・ 学校跡施設の避難場所の設定について【別紙 4】

##### 【委員 A】

- ・ 北広島団地住民センターと緑陽小学校・広葉小学校の体育館では、利用者のニーズを満たしているのか。ニーズを満たしていない場合は、どのような場面なのか。

##### 【事務局】

- ・ 北広島団地住民センターは、指定管理者である NPO 法人が運営を行っている。職員の方にヒアリングを行ってきたところ、苦情等はないようである。しかし、音が漏れる等の問題はあるようである。

##### 【委員 A】

- ・ 住民センターを使いたいが使えないというニーズはどうか。

**【事務局】**

- ・ 青少年婦人室のような机や椅子がある小さな会議室のニーズは高く、このような部屋を希望日に使えないという状況があるかもしれない。
- ・ 大きな部屋というよりは、ミーティングが出来るくらいの設備が備わった、それほど大きくない部屋のニーズが高いということは感じている。

**【会長】**

- ・ 住民センターの各部屋の稼働率はどうなっているのか。

**【事務局】**

- ・ 資料を整理し、後日説明する。

**【委員B】**

- ・ 学校の面積と住民センターの面積はどこをみればわかるのか。

**【事務局】**

- ・ 第1回市民検討会時に配布した資料に掲載されている。
- ・ 住民センターと学校の面積が載っているものを後ほど提示する。

**【委員C】**

- ・ 緑陽小学校と広葉小学校を譲渡した場合、実際にこの金額で売れるのか。

**【事務局】**

- ・ 実際にこの価格で売却することは難しいと考える。半分程度になると思われる。

**【会長】**

- ・ 今までの意見をまとめると、住民センターの活用が活発であり、学校跡地利用として住民センターの補完の役割が高いと考えて良い。

**【委員D】**

- ・ 現在の住民センターでは、会議室の横でカラオケなどを行っており、使い勝手が悪い。
- ・ 住民センターのピアノの需要が高いが、ピアノの置いてある部屋が1つしかないので一度も使ったことがない。
- ・ 楽器を使っていると音が漏れているのではないかと心配になる。

**【委員E】**

- ・ 住民センターの青少年婦人室が有料になって他の部屋を借りている。
- ・ 住民センターの施設の防音があまり良くなく、民謡などが聞こえてくることもある。
- ・ 同じように学校跡地もこのような（サークル活動の拠点）施設に使えたら良いと思う。
- ・ 住民センターには机と椅子が整備されている。

**【会長】**

- ・ 大曲に夢プラザという良い施設がある。夢プラザの使い勝手はどうか。

**【委員C】**

- ・ 夢プラザには陶芸施設があり、とても使い勝手が良い。作った陶芸作品を飾ってもらうことも出来る。作品を保管する場所があればもっと良い。

**【会長】**

- ・ 夢プラザのホールは 300 m<sup>2</sup>くらいあり大きい。

**【委員E】**

- ・ 夢プラザは調理室が立派で、使いやすく、イベントが開催出来る。

**【会長】**

- ・ 学校跡地をコミュニティセンターやサークル活動の場所として考えた時に、それぞれ違う利用の仕方を考えていく必要もある。

**【事務局】**

- ・ 先程の住民センターと学校の面積の説明であるが、学校の教室は 1 教室 8m×8mの 64 m<sup>2</sup>、家庭科教室 128 m<sup>2</sup>の大きさである。住民センターの面積は、ファミリーホール（406 m<sup>2</sup>）を除けば約 500 m<sup>2</sup>である。

**【会長】**

- ・ 学校の延床面積は、後程お知らせする。
- ・ 住民センターを利用してどのくらいの稼働率があり、あふれている部分がどのくらい分かることで、学校全体を使うことを想定した場合、どのくらい利用可能であるかが分かると良い。

(2) 広葉小・緑陽小学校体育館等の利用実態と市民検討会議での利活用意見（第1回・2回まとめ）【別紙5】

- ・ 事務局により、資料説明が行われた。

(3) 学校跡施設利活用事例

- ・ 事務局により、資料説明が行われた。
- ・ 周辺環境や人口規模など類似している活用事例【別紙6】
- ・ 廃校リニューアル50選による活用事例【別紙7】

**【会長】**

- ・ 事例等を聞いて、各委員のご意見を伺いたい。

**【委員F】**

- ・ 緑陽小学校と広葉小学校の2つの校舎の使い方を変えた方が良い。
- ・ お風呂などが付いた宿泊施設に変えるのは、お金がかかるのではないか。
- ・ 野球場として使っても硬式野球は出来なく、サッカー場として使う場合は芝が張って

いないため、緑陽小学校では、スポーツの合宿所には出来ないのではないかと思います

**【会長】**

- ・ 緑陽小学校と広葉小学校の施設の使い方は同じものにはならないと思う。
- ・ ここでは使用方法として可能性のあるものを話し合いたい。
- ・ いずれは2つの施設の役割分担を決めていきたい。
- ・ 緑陽小学校の周りにスポーツ施設があるため、それらと併せて使っていくことは出来ないか。

**【委員F】**

- ・ 北広島市の市民に使ってもらうならば、緑陽小学校周辺のスポーツ施設は今のままで問題はないと思う。
- ・ よそから来て使ってもらうとなると、今のスポーツ施設だと弱いため、スポーツ施設というのはないのではないか。

**【会長】**

- ・ 宿泊施設をつくるにはお金がかかる。しかし、お金がかかるからこれは出来ないということではなく、まずは意見を出して欲しい。

**【委員A】**

- ・ 廃校事例の50選を見ると、自然環境等の地域性を上手く利用している。
- ・ 北広島市の特性は何なのかを考えるべきである。
- ・ 西日暮里は住工混在型でまち工場が多い場所であり、事務所のニーズが高かったのではないか。
- ・ 過疎地は、地域らしさを上手に利用しているのではないか。
- ・ 廃校事例の50選を、緑陽小学校と広葉小学校に当てはめるのは難しい。
- ・ 北広島市において産業や農業で特徴のあるものは何だろうか。
- ・ 北広島市の歴史を上手に活用できないか。
- ・ 地域性を考えることが必要ではないか。

**【会長】**

- ・ スタートアップオフィスは東京のいろいろな所で行っている。

**【委員G】**

- ・ 以前中小企業事業団に勤めていた。中小企業事業団で、名古屋や岐阜、静岡の中小企業の役職員の研修センターを立ち上げたところ、研修のニーズが多くあった。
- ・ 農業に興味を持っている方もたくさんいる。農業の研修等、学校の機能をいかして活用することも出来るのではないか。

**【会長】**

- ・ 研修の場だと学習の場として、学校をそのまま使える。
- ・ 学習の場として尊重するのに加え、「研修の場」として利用していくことも重要だと思う。

**【委員G】**

- ・人を育てることが重要である。

**【会長】**

- ・札幌市ではコンベンション機能を重視している。北広島市で研修をやるとしたら、優位性を考えていく必要があるのではないかな。

**【委員G】**

- ・大企業、ベンチャー企業の社長などを講師として招くことが必要ではないかな。

**【会長】**

- ・北広島団地の中にもそういった活躍している人がいるのではないかな。

**【委員H】**

- ・学校としてつくられているので、活用するのは制約があると思う。
- ・そろそろ活用の仕方を整理することが必要である。
- ・どちらかの学校を教育施設にするべきではないかな。
- ・市民意見から見ても「地域のよりどころ」としての用途で使ってほしいという意見が多く、その方向での活用をしていきたい。
- ・住んでいる人のニーズを把握し活用するのが良いのではないかな。
- ・文化施設やコミュニティの場、高齢者の福祉への活用が良いのではないかな。

**【会長】**

- ・生涯学習の場や生きがいの場として、元気な高齢者の活躍の場ということも考えられる。

**【委員I】**

- ・「あけぼのアート&コミュニティセンター」のようなコミュニティセンター施設が必要ではないかと思う。
- ・スポーツ施設の拠点や図書館等の複合化を考えた方が良い。
- ・サマースクールやドラマ・映画の撮影にも使われるかもしれないが、基本的にはコミュニティ施設が良いと思う。

**【会長】**

- ・コミュニティ施設が基本になるのではないかな。

**【委員D】**

- ・大人社会の格差が子ども社会へ持ち込まれていることに問題意識を持った。
- ・「学習の森」プロジェクト（案）と称しているが、広葉小学校では、今ある施設を活用し、学習塾を行ったら良いのではないかなと考える。
- ・「学習の森」プロジェクト（案）を子育て支援としてやるのが良いのではないかな。
- ・「学習の森」プロジェクト（案）に、子育て世代の転入意欲を高める効果も期待できる。

**【会長】**

- ・北広島団地の周りには塾などはあるのか。

**【委員B】**

- ・北広島団地には英語を教えている塾など結構ある。
- ・周辺には集会場を使って公文などがある。学習塾もある。

**【委員F】**

- ・学童保育を拡大してほしい。自学自習の出来る場をつくって、ボランティア等が支援出来たら良いのではないか。

**【会長】**

- ・「教育の場」として再生するという視点は大事である。
- ・これを機会に子どもを持つ人に住んでもらおうということも考えているのか。

**【委員D】**

- ・児童が通学してくれることになるのではないか。

**【委員J】**

- ・運営の仕方でも参考になるものとして、「高尾の森 わくわくビレッジ」を紹介する。
- ・廃校になった都立高校を自然体験学校に変え、施設の改修と運営を京王電鉄グループに委託している。
- ・PFI手法を使った運営等をしている。
- ・大学生によるボランティアを使って、運営を行っている。緑陽小学校と広葉小学校の場合、道都大学との連携が考えられる。
- ・資金の上手な活用方法や運営方法を検討する必要がある。

**【会長】**

- ・学校の設備をそのまま使えるということは利点である。

**【委員C】**

- ・企業と地域が連携をして運営していくことが理想である。
- ・北広島市には企業が少ないので、協力してくれる企業が限定されてしまうのではないか。
- ・教育の場としての使い方は大切であると思う。
- ・費用対効果を考えると企業の協力を得られると良いと思う。

**【会長】**

- ・企業ではなくても、例えば1世帯1万円くらい出すとかという考え方もある。
- ・市民で運営することもあるのではないか。

**【委員A】**

- ・社会教育で考えることは賛成である。
- ・その内容に北広島市の特性を入れて考えていくことが必要ではないか。例えば米の栽培等もあるかもしれない。

**【委員F】**

- ・ 紹介された事例は、国庫の返還があるのか。

**【事務局】**

- ・ 国庫の返還等については次回の市民検討会議で提示したい。

**【委員 A】**

- ・ エコミュージアムの拠点がない。ミュージアム構想と連携を図っていく必要がある。

**【会長】**

- ・ エコミュージアムは、歴史・文化・博物館等のくくりに入ると思う。今後話を深めていきたいと思う。

(4) その他

- ・ 事務局により、資料説明が行われた。
- ・ 利活用に対する市民からの意見【別紙 8】

(きたひろしま市民の声、学校統合説明会、市民意識調査などから)

**【会長】**

- ・ 今回は、委員の皆さんから施設の「考え方」をお寄せ頂きたい。
- ・ 今まで議論した中から、こういうものが良いのではないかというようなことを最低 1 つ出して頂きたい。
- ・ 出された意見で実現可能なものに優先順位をつけていくこととする。
- ・ 行政としても施設の機能を検討しているのでそれを提示してもらいたい。
- ・ 施設の運営を誰が行っていくのかを話し合い、意見を出して頂きたい。

**【事務局】**

- ・ 意見を書いてもらうシートを作成して、委員の皆さんにお送りする。

**3 次回市民検討会議の日程**

- ・ 第 4 回北広島市学校跡施設市民検討会議は、9 月 6 日（月）の 18 時から予定する。

**4 閉会**